



第 121 号

# 東稲ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

令和 4 年 1 月 10 日発行  
発行責任者 高橋 哲男  
編集責任者 片平 るみ  
E-mail:bente-takahashi@jcom.home.ne.jp  
http://higashikurume-toumonkai.com/  
事務局 大矢 真弘 Tel042-475-8532

## 会長年頭挨拶

東久留米稲門会会長 高橋 哲男

明けましておめでとうございます。昨年は、一昨年に続いてコロナとの戦いでしたが、ワクチン接種や飲み薬の開発も進んでいますし、岸田首相も「屋根を修理するなら、日が照っているうちに限る」と新型コロナウイルス対策を強化していますのでウィルスとの共存出来る日も近いと思われま

す。会員の皆様におきましては、ご健康で新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃、稲門会活動にご支援、ご協力いただきましてありがとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年コロナ禍でしたので、稲門会として全体の行事は開催できませんでした。現状では、コロナウィルス感染は落ち着いており、来る 1 月 16 日（土）に午後 2 時より新年会を開催する予定です。但し、飲食についてケータリングは、会場の制限がありますので、仕出し弁当になりますのでご理解をお願いします。新年会を盛り上げるためビンゴゲームを計画しております。2022 年度の行事はコロナの終息状況によりますが、総会は 5 月 21 日（日）、講演会は一昨年から延期となっています 1981 年理工学部卒の正田浩司氏による「東久留米市周辺の地形・地質」の予定です。秋の懇親会及び来年度の新年会も計画しております。また、映画鑑賞会についても、コロナウィルス感染の状況によりますが、2 年ぶりに 2 月 24 日（木）に開催を予定しています。また、2 年後は、創立 30 周年になりますので記念行事を検討して参りたいと思います。

当会の会員数につきましては、これまでコロナ禍の中で進んでなく、また、定年制の延長等で他の稲門会同様厳しい状況ですが、会員募集について検討し、会員募集プロジェクトチームを発足しました。部会及び部会長のご協力を宜しくお願いします。また、部会に未入会の会員は、部会へ是非体験入会をお願いします。

早稲田大学関係については、2 年ぶりに商議員フォーラムがオンラインで開催され、田中総長の挨拶の中で大学の新型コロナウイルス対策の話がありましたので説明させていただきます。新型コロナ対応については、行政より 3 週間早く昨年 2 月にパンデミックを宣言して、最大のダメージを最小限に留めること及び誰一人取り残さないことを目的として取り組んできました。具体的には、昨年 4 月よりパソコン、WIFI 環境を整備し、教員の在宅勤務で 5 月からオンライン授業の開始、学生への緊急支援金は、総額 9 億円で慶応の 4 億 5 千万円を寄付金で大きく凌駕しました。本年度は 7 億円 5 千万円をかけて環境を整備して 70% 対面授業を開始しています。尚、サークル、部活動は自粛しました。それが、一部のスポーツ部の不振に繋がっていることが懸念されますが、復活を期待します。

最後に皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。



## 会の告知板

### 【部会予定】

1月15日(土)	ニューイヤーズコンサート2022	14:00	練馬文化センター
1月16日(日)	東久留米稲門会新年会	14:00	成美教育文化会館
2月06日(日)	役員会	16:00	生涯学習センター
2月24日(木)	映画鑑賞「鉄道員」	14:00	成美教育文化会館
4月10日(日)	臨時役員会	16:00	生涯学習センター
5月21日(土)	東久留米稲門会第28回定期総会	13:00	成美教育文化会館

<各部会定例活動一覧> ※コロナ禍により変更の可能性あります。

部会	1月				2月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	20	木	10:00	中央町地区センター	17	木	10:00	中央町地区センター
書道	9	日	13:00	成美教育文化会館	13	日	13:00	生涯学習センター
俳句	21	金	10:00	生涯学習センター	20	日	13:00	生涯学習センター
囲碁	23	日	13:00	成美教育文化会館	27	日	13:00	成美教育文化会館
太極拳	15	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	5	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	22	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	12	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	29	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	26	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金	10:50~	東久留米スポーツセンター	毎週金	10:50~	東久留米スポーツセンター		

### 【大学・校友会関係】

- (1) 合同会長懇話会 中止
- (2) 三多摩支部幹事長・事務局長会議 日程未定
- (3) 春季代議員会 3/12(土) 早稲田大学
- (4) 西東京稲門会 日程未定 20周年記念式典(こもれびホール)

## 会の報告

### ◎2021年度商議員フォーラムの報告

2021年度の商議員フォーラムは、2021年12月4日(土)14:00~16:00までオンラインによる開催となりました。報告事項は、下記にて

亀井会長の挨拶 コロナウィルス感染拡大防止、学生への緊急支援金、大学のワクチン接種  
2022年度総長選挙制度及び評議員改選 カーボンニュートラルについて

田中総長の挨拶 大学のコロナウィルス感染拡大防止対応について 週刊ダイヤモンドにおける早慶の評価(政経学部が偏差値でそれまでトップの慶応法学部を上回る) ノーベル賞については、理工関係学部では東大、京大に比し補助金が大幅に少ないので文学部関係で狙う一3人の候補者(村上春樹、小川洋子、多和田葉子) 教育学部及び理工学部の校舎建設計画 大隈重信没後100年記念式典

総務担当 佐藤宏之理事 総長制度及び評議員改正制度の説明

教務部長 本間敬之理事 学事報告ー 新たな大学院教育に向けて

社会連携担当 井上文人理事 大学支援の依頼 ふるさと納税制度による早稲田大学の支援 村上春

◎第4回役員会報告

2021年度第4回役員会が12月5日(日)15:50～生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

高橋会長から開会の挨拶の後、以下の事項について報告や意見交換が行われた。

1 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

- (1) 早大稲門祭 10/24(日) オンラインで実施
- (2) 商議員フォーラム 12/4(土) オンラインで実施
- (3) 合同会長懇話会 中止
- (4) 春季代議員会 3/12(土) 早稲田大学
- (5) 西東京稲門会 日程未定 20周年記念式典(こもれびホール)

2. 会長・部会長・役員忘年会

- (1) 日時 : 12月5日(日)18:00～
- (2) 場所 : 「庄や 東久留米店」
- (3) 会費 : 5000円
- (4) 参加予定 : 21名

3. 新年会

- (1) 日時 : 2022年1月16日(日)14:00～
- (2) 場所 : 成美教育会館3階 大研修室
- (3) その他
  - ①役割分担 司会:大矢 受付:金子、河村、山口 ビンゴ:小野、小山田、片平
  - ②座席・・・7～8名のテーブルを作り、着席
  - ③準備品 ホワイトボード、校旗、ビンゴゲーム、賞品3万円程度で購入
  - ④飲食物 2000円の弁当、飲み物

4. 2022年度第28回 定時総会

- (1) 日時 : 2022年5月21日(土)
- (2) 場所 : 成美教育会1階ギャラリー、3階大研修室 <予約済>
- (3) 講演者の件 : 正田浩司氏「武蔵野の段丘と湧水」  
1983(昭58)理工学部大学院卒 埼玉県立高校 地学担当教諭
- (4) 2024年が第30回になるので、来年2月の役員会にて30周年の実行委員会等について相談する。

5. 東稲会計11月末までの状況等

会計の清水氏より、資料に基づき11月30日現在の収支実績について以下のような報告があった。

- ・収入:会費収入 125名×3,000円=375,000円
 

大学より補助金	49,000円
雑収入	10円
合計	424,010円
- ・支出:通信費 76,256円
 

HP関連費用	108,162円
部会補助費	80,000円
寄附金	74,300円
その他	80,754円
合計	419,472円
- ・次年度繰越金(見込) 約96万円(30周年積立金50万円含む)

## 6. 広報関係

### (1) 東稲ニューズ—記事の募集、印刷日時等

担当の有賀編集委員より資料に基づき説明があった。東稲ニュースの写真が見にくいのでカラー印刷等ができないかとの意見が出たが、予算上の問題もあるので、HP 上のものを見ていただくことで理解を求めた。

原稿締切：12月28日（火）

印刷日：1月12（水）16:00~生涯学習センター印刷室、学習室2

## 7. その他

### (1) 今後の役員会

2022年 2/6（日）・4/10（日）

### (2) 映画鑑賞会

2022年 2/24（木）「鉄道員」

### (3) 再入会の案内を出した方への電話連絡

12月6日以降、各担当者が電話連絡をすることが確認された。

## 8. サークル・部会関係

- ①女性サークル ②ゴルフ ③囲碁 ④俳句 ⑤書道
- ⑥太極拳 ⑦グルメ ⑧郷土研究 ⑨ウォーキング&山歩き
- ⑩カラオケ ⑪スポーツ観戦 ⑫諸芸術鑑賞 ⑬旅行同好会（休会）
- ⑭パドミントン ⑮マグカップの会

・次回役員会について

2022年2月6日（日）16時より、生涯学習センターの予定

## 部会だより【活動報告】

### <俳句部会>

第255回 11月25日（木）

兼題：鍋 時雨 当季雑詠一句

<高点句>

夕時雨祇園を急ぐ蛇の目傘 比護喜一郎  
孫の名を忘れし母と牡丹鍋 片平るみ  
饒舌な尼僧逝きけり冬の月 三浦洋子

<自選一句>

時雨るるやタンスに眠る旅衣 川島知子  
散り紅葉本にはさんで旅路かな 大久保泰司  
しぐれの日抱えきれないあれやこれ 横田慧子  
夜がらすを客に呼ばんかひとり鍋 杉本達夫  
洗面器の寄せ鍋つつく輩（ともがら）かな 橘優治  
寄せ鍋の亡き妻思う匂いかな 本間信一  
時雨来て折りたたみ傘江戸しぐさ 馬場清彦

第256回 12月16日（木）

兼題：綿虫 くさめ 当季雑詠一句

<高点句>

夕焼の赤きに綿虫溶けゆけり 杉本達夫  
雪蛭いのちのままに漂へり 片平るみ  
永らえて我が行く道に実千両 大久保泰司

<自選一句>

くさめしてやっとなた子を起こしけり 三浦洋子  
渾身の手料理哀れ嘆かな 比護喜一郎  
大きくさめ硬い会場和やかに 馬場清彦  
珍客や玄関脇の花八つ手 川島知子  
冬野菜友の丹精届きけり 橘優治  
からかぜにつなぎし母のたなごころ 横田慧子



<書道部会>

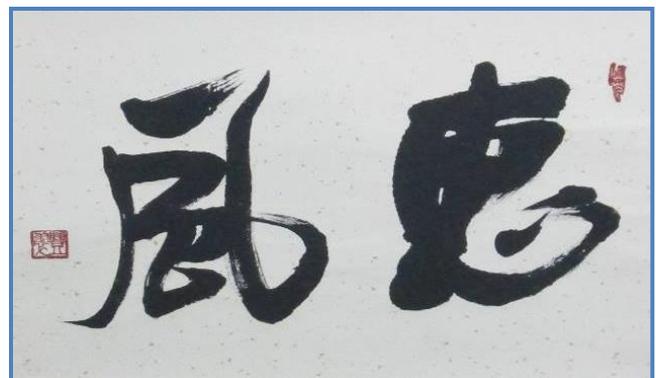
第11回書道作品展を10月22日～24日、成美教育文化会館にて開催しました。

個性豊かな作品が飾り付けられ各自それぞれが鑑賞し満喫した次第です。来客者の多くが良く頑張ったね！技量の差こそあれ、各自が書作に創意工夫して努力した姿が想像されますね！全体的に雰囲気の良い、「いい書」ですね！と望外の言葉を頂戴しました。通常は上手いですね、素晴らしいですね等の美辞麗句のお世辞が飛ぶのですが、「いい字、いい書」ですね、の発言は本音の響きがあります。全体的には各自が自分の好きな言葉を創意工夫し、書作の本質を突いた創作意欲作品で書に精気が見えてきた「いい感じ」の健康的な雰囲気の商品展でした。

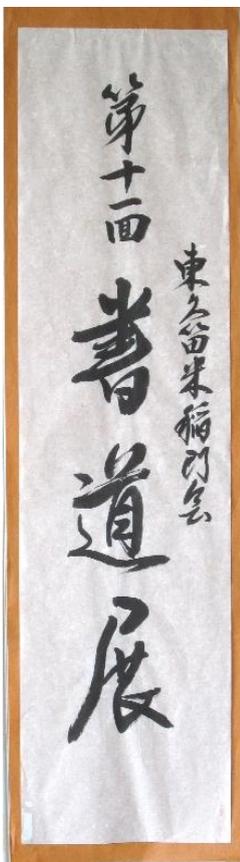
書の技術はともあれ書を趣味に持つ同窓の友が心を和らげ共に愉しむ会を基本方針とした当書道部の精神が浸透してきた展示会でもありました。今後とも稲門会の文化活動の一翼を担うよう努力して行きたいと思っています。

末尾になりましたが稲門会の皆様をはじめご来駕頂きました方々に厚く御礼申し上げます、有難うございました。

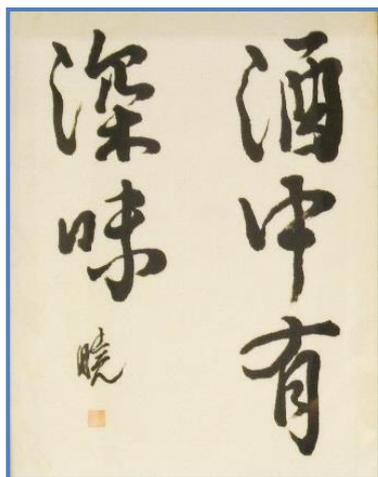
総合写真のバックの書作品は僭越ながら私の拙い作品です。ご参考まで。



コロナが収まり、「めぐみの風」が吹きますように、と願って書きました。



私の好きな言葉： ～ 書は心の豊かさと寛ぎを育む担い手でもある ～ 武藤 豊 (号：豊翠) 記



私にとって2回目の作品展で緊張しましたが、多数の作品を出させて頂いたことは、唯々感謝の気持ちで一杯でした。

私は今回の作品展には自分との挑戦、自分の力の限界を試すために年初にとっても大きな目標をたてました。王羲之の蘭亭序 324字を臨書することでした。既に第1回目書き上げた作品が、東稲ニュース 117号にて披露されていますが、その作品より更に書作品らしくなるよう根気よく書き続けました。その成果はともあれ蘭亭序 324字の臨書を書き上げ今回の作品展に飾らせて頂いたことを嬉しく思っています。

書歴の浅い自分に書けるかな、と杞憂ばかりしましたが、やれば出来る、やり遂げた、このことは自分ながら変な自信になりました。紙面の都合からここには披露できませんので残念です。その代わりに「酒中に深味あり」酒好きの私にピッタリと思って書きました。

### 第11回書道展を終えて (大矢 真弘)

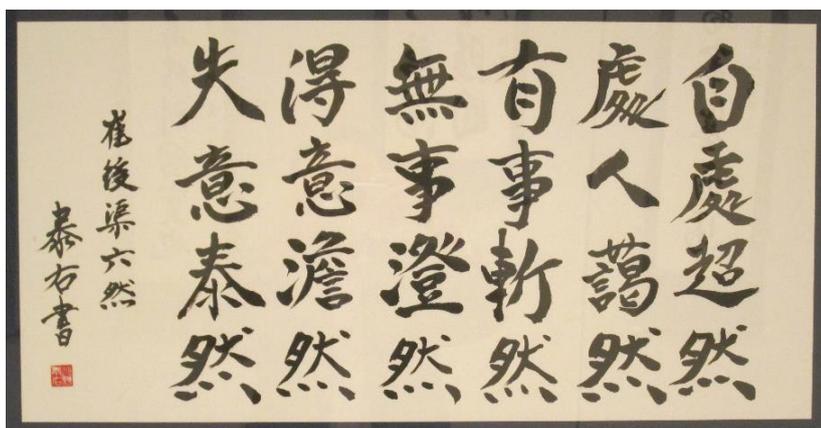
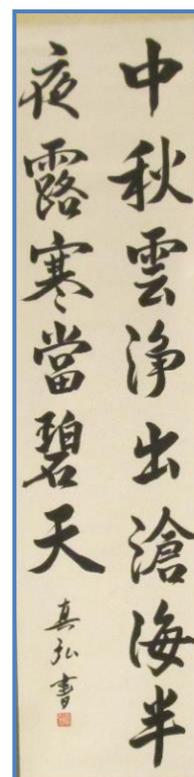
第8回の書道展より参加させていただき、書道部の活動も7年となりました。今回は6点出品し、初めて1点、武藤先生にお手本を書いていただいていたものも出しました。秋の書道展らしいものを選びたいと考え、唐の許渾(きょこん)の詩である、「中秋雲浄出滄海半夜露寒當碧天」にしました。中秋の月(旧暦8月15日:2021年は9月21日で、8年ぶりとなる満月でした。)は、雲の晴れたなか大海原から登り、夜も更け寒さが増し、露が生じて澄んだ空にくっきりと浮かんでいる。という詩です。書道の本から選んだ詩なので、どのような文字を書いたら良いか難しく、自分のなかで合格点をつけられない日々でしたが、何とか夏休み中に完成し、表装に出すことができました。

6点の出来栄は、基本的な中心に文字を書くことができなかつたものもあり、まだまだでしたが、自分の好きな言葉等を書にする楽しみを改めて感じました。2年後の書道展も楽しみです。

お忙しい中、書道展においていただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

### 書道展に思う (小野 泰右)

書道部に入会して早や、10年余りが過ぎた。入部した当時は筆の握り方もわからず、ミミズのはった様な字を書き、諸先輩方は言葉を失った。爾来、武藤部会長の書いた手本を模写する手習い時代、やっと筆の使い方が少し分かり、下手ながら自分の字が書け



～中国の詩人＝崔後渠の詩(勝海舟の座右の銘)～

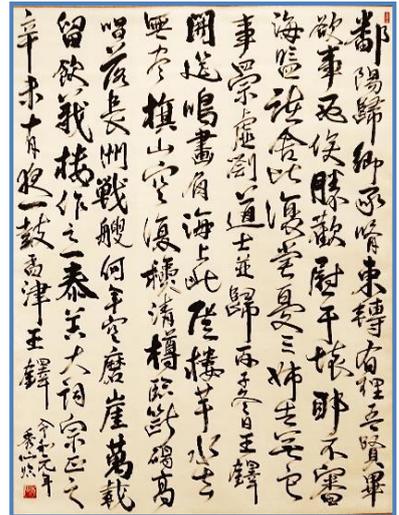
る様になったこの1～2年。生来の怠け癖が抜けず部会がある2～3日前から書き始める体たらくだが、書き始めると不思議に心が落ち着いて、集中しつつも穏やかでゆったりした時間が過ぎてゆく。

書は相変わらず下手だし、上手くはなれないが、この年で素晴らしい趣味を持たた事に感謝している。栄田先生の奥さま、書道部に強引にお誘い頂きありがとうございました。

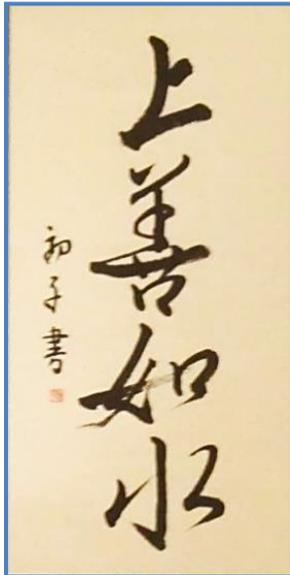
第11回稲門会書道展（反省と今後の課題）（福田 稔：雅号 秀仙）

部員数が武藤先生と部員8人で74点もの作品（一人平均8点）が展示出来て、出展点数が不足するのではないかな。との心配を余所に成功裡に終わって、ほっとしました。

次回から展覧会は多くの部員で開催され、表装の個人費用負担が少額（出展2点で表装費¥10,000円以内）になればと切望します。その為には部会時の会場で、書く時間を多く取り、その場で武藤先生の添削を受けながら、書技の実力向上を語る等々を話し合い、質量コストのバランスの採れた魅力ある書道部にして、多くの部員の入会を期待します。



老子の言葉：私の好きな言葉



2021年の書道展（前川 初子）

今回は私にとって3回目の書道展でした。2年に1回だから、長い間、書道をしていることになりますね。書道をしていると精神が集中していく感じがして、そこが書道の好きな点です。ところが忙しいことを理由に、練習ができていないのです。

『徒然草』に、「習い事は上手に交じってやるのがいい」とあります。へただから止めようかと思う時は、この言葉を思い出すことにしています。

今回初めて案内の葉書を3人に出し、1人には声をかけました。その中で、美術関係の仕事をしている人が来てくれました。

そうしたら、『梅・・・』の作品がいいとおっしゃるのです。曲がっている字があるが、「梅は前川さんのイメージよね」との言葉でした。

気の弱い私が初めて勇気を出して人を誘った、書道展でした。これは私にとって画期的なことです。少し成長したかなと思いました。いくつになっても、1ミリの成長ができる人になりたいですね。

第11回書道部作品展（渡辺 真司）

第11回作品展に出品した中から1点を選び、悪戦苦闘ぶりを、でも少し楽しかったことを書いてみました。

1300年前に創建された奈良薬師寺の東塔が、2009年から解体修理されていました。その中で三重塔の上に翻る相輪の一部に、素敵な言葉が書かれているのが今回発見されました。それが今回私が書の題材にした「福崇億劫 慶益萬齡」 フクスウ オックウケイエキバンレイ と読みます。意味は、「永遠の幸福と限りない喜びを願う」ということです。字体は書道字典から、自分で選び、アレンジ・デザインして作品にしました。どういう字を使って、どのように配置していくかなど試行錯誤している時間がとてつもなく楽しく、嬉しいものです。また表し方も迷いながら、邪道といわれるかもしれないが、普通でないものと考え、東塔の上で碧空に舞う天女を透かし彫りにした相輪を頭に描き、白い額に真っ青な下地を当てました。どう表現するか悩みながら、その魅力に引きずり込まれ、へたくそな書に没頭しています。毎回毎回こんな苦労と喜びを頂いています。面白いですよ・・・



## <太極拳部会> 「私と太極拳」

私が太極拳部会に加入したのは、2012年の春頃からと記憶しています。現在の稲門会会長の高橋哲男氏から強く誘われての入会でした。その前年に還暦を迎え、勤めていた会社もいったん定年となり継続雇用制度を使っただけの週4日勤務、それまでの仕事中心の生活から、寝に帰ってくるだけだった地元での活動も徐々に始めていこうと思っていた矢先の、実にタイミングの良い勧誘でした。私の稲門会「部会活動」への初参加。それまでは稲門会には加入していたものの、部会には参加せず、新年会や総会に顔を出す程度でした。

当初毎週通い始めた私の様子を見て、女房が自分も運動のために参加してみたいと言い出し、それ以来足掛け10年、夫婦での稽古参加が続いています。

太極拳についてはまったく知識も経験もなく、昔ちょっとかじった少林寺拳法に似ている武道なのか？という程度でした。稽古に参加して市販のテキストを読み、当時の部会長の鮎貝さんから頂いた教本を見ながら、PCの動画を検索して見ていくうちに、中国四千年の歴史ある武道から派生した、中国の国民的健康法であることがよくわかりました。ちょうど日本のラジオ体操のようなもの。ただ、その身体の動きは決まっているものの奥が深く、なかなか模範通りに自分の身体を動かすのは難しいもの。

稽古日午前10時から渡辺部会長の指導の下、楊名時健康太極拳24式の稽古が始まります。「立身中正」といわれるように上体を常に正しい姿勢に保ち、呼吸法を意識してゆったりと穏やかに音楽に合わせて動いていきます。足の運びと体重移動の大きさ、膝を曲げての腰の高さにより、同じ動きでもその運動負荷が変わり、少し腰を落とすだけでも結構な運動量となります。各人の体力やその日の体調により、その辺を加減することにより運動負荷を調整できるので、私共のような高齢者もそれなりに楽しめます。

現在は月に3回の土曜日、午前中約一時間半の稽古ですが、昨年からは中国本場の簡化二十四式の動きも勉強することになり、私たちにとっては、週一で「頭」と「身体」にひと汗かく、ちょうど良い運動になっています。

小山田 朋樹 記



## <女性サークル>

### ランチ会の報告

12月16日(木)に久しぶりに女性サークルのランチ会が行われました。月に一度開かれている読書会の参加者は5~6名くらいですが、今回はその倍の12名の参加者でした。場所は、東久留米駅近くの「花つづみ」です。お料理は手毬寿司や胡麻豆腐等が可愛らしく盛られていて、熱々の茶碗蒸し、デザートは紫芋のアイスクリームもいただき、目も舌も満足させることができました。

コロナ禍でもあるので、食事以外の時はマスク着用という制限もありましたが、初めて参加された方も数名いらしたので、簡単な自己紹介をしてから歓談しました。みなさん、初対面の方とも共通の話題を見つけるとすぐに打ち解けて、今のお仕事や趣味、家族、家事分担、サークル活動等々、話がつきず、おいおい盛り上がりました。

また、読書会やランチ会によく参加されていた岡野さんが先月亡くなられたので、弔問した時の様子や生前の思い出等、岡野さんを偲んで語り合いました。

最後にこれからの活動に活かせるように、みなさんの名前を輪になって確認してお仕舞にしました。  
和やかなひとときを過ごすことができました。

三浦 洋子 記



#### < (第81回) 葛西臨海公園 11月1日(月) ウォーキング活動報告 >

待望の緊急事態宣言開けが訪れて、6月の西東京憩いの森公園以来の中断を経た久々のウォーキングとなった。天気予報に反して薄曇りの暖かい天候に恵まれて、19名(男14、女5)と多人数となって、京葉線葛西臨海公園駅に降り立った。

葛西海浜公園は江戸川区の荒川と旧江戸川の河口に広がる干潟の保全と、都民が海辺とふれあう機会をつくることを目的に整備した海上公園(注1)で、1989年(平成元年)6月に開園された。2018年10月には、国際的に重要な湿地であることが認められ、ラムサール条約(注2)湿地に登録された。

(注1) 海上公園：かつて、東京の海は豊富な魚介類に恵まれ、水遊びや釣りなどが楽しめる憩いの場であり、人々の日常生活と深いつながりのある空間だった。しかし、昭和30年代からの高度経済成長に伴い、大規模な埋立が進み、工場が立地し、港の拡張が続けられた結果、生活の場としての「東京の海」は忘れられ、都民は身近に海とふれあう場を失ってしまった。

そこで、かつて都民生活に海が果たしてきた役割をあらためて見直し、都民が海や自然とふれあい、スポーツやレクリエーションを楽しめる場として、東京の埋立地に公園を整備していくことになり、これらの公園のことを「海上公園」と呼んでいる。

(注2) ラムサール条約：1971年2月にイランのラムサールという都市で開催された国際会

---

議で採択された、湿地に関する条約である。正式名称は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」という。

先ず、駅から数百mを歩き、ヨットの帆柱をイメージした渚橋を渡って、西なぎさに行き、広い砂浜が目の前に広がっている東京湾の水際で、全員で昼食をとった。高い空の下で心地よい海風を感じながら、久々の乾杯を、こういうことをやれることの喜びの中でしみじみと味わった。

以後は自由行動とした。各々がその好みに応じて、東京湾深部に臨む広大な公園内を好きに行くウォーキング、大観覧車で辺りを一望、有名な水族館、園内を一周するトロッコバス等々。歩くのが苦手な方もそれなりに大自然に浸って、楽しいひと時を過ごした。

交通の便に恵まれ、隣駅の新木場から地下鉄有楽町線を経て東久留米まで直通電車で帰着する事が出来た。

東久留米では、久々に恒例の打ち上げを行った。

東海 俊孝 記



### < (第82回) 高麗峠から宮澤湖12月2日(木)ウォーキング活動報告 >

今回のウォーキングは雨に祟られたものとなった。当初予定の11月27日(月)は、それまで晴天続きだったのが、この日に限って雨となり12月1日に延期。しかし、またまた天気に祟られ、2日(木)に再延期。主催者としては、日頃の行い反省至極と改めて認識したものです。古人曰く「小人閑居して不善をなす」。(暇な毎日です)

参加者は、当初予定15名が延期の度に減って、男性7名と寂しくなりましたが、飯能駅からウォーキングを開始、先ず、目的地への途中、奥武蔵自然歩道入り口の手前にある名刹能仁寺を参詣した。モミジどころで有名な紅葉は殆ど終わってしまっていたのが残念で、雨での延期を恨んだものである。境内には、時節柄、大河ドラマに出てきた、幕末の飯能戦争で自刃した渋沢平九郎(渋沢栄一の従弟)の碑があった。

今回のウォーキングコースは、「武蔵丘ゴルフコース」の縁に沿って林間の道を一周するもので、所々で気持ち良い広々としたフェアウェイが垣間見られたが、概ね樹々の中を歩くことの楽しみの為の道であり、高麗峠を過ぎて分かれ道を右に入り宮澤湖へと至るまでに、眺望を楽しむような場所はなかった。また、紅葉もそれをもたらす筈の樹々は少なく、期待外れであった。

宮澤湖は、入間郡地域の用水不足解消の為1941年に竣工した宮沢溜池ダムによって出来た人造湖で、

---

水源は名栗川小瀬戸で取水し約5kmの導水路を通して湖に流入している。湖畔には近年「ムーミンパーク」が造られたが、今回は修理の為閉鎖されていた。

小春日和の陽光を浴びながら、芝地に腰を下ろして、眼前に湖面を見ながら、昼食を取った。少々聞き召したこともあり、自然の中に溶け込んだひと時を満喫した。

東飯能駅から東久留米への帰途、途中の所沢で恒例の打ち上げとなった。

東海 俊孝 記



### <ラグビー早明戦観戦記>

ラグビー大学選手権の準々決勝(12月26日)は12月5日の対抗戦の早明戦と同じ宿命の対決となった。ラグビー史上常に好敵手の両校、今年の戦力は全くの互角と言える。この試合の勝敗はミスの差となるだろうと、黒坂さん(何とプラチナに近いラグビー観戦の抽選チケットを全て当てて頂いた。)と観戦に行く途中分析していた。

伝統の一戦は前半15:8と順調に試合を進めリードした早稲田、後半は明治の反撃に遭い1トライを返され15:13と2点差に追い上げられた。後半20分過ぎ早稲田自慢のボックス陣が相手ディフェンスを切り裂き、明治ゴール前まで迫る決定的なトライチャンスも痛恨のノックオン(落球)。その後、再度反転攻勢に出るが、またもやノックオンを犯し、明治にスクラムを崩された反則で、自陣ゴール前まで戻される。ゴールを背負い必死に耐えたが、何度もスクラムでの反則を繰り返し、5分の攻防の末、明治にトライを許し15:20と逆転される。その後もミスを繰り返し敗れた。

重大な局面での早稲田のミス、フォワードのスクラムで力勝負に拘った明治、明暗は分かれたが素晴らしい試合だった。

今回で卒業するキャプテン長田、華麗なフルバック河瀬等のスター選手と、早稲田でのラグビーを目指し2浪して入学4年目にして初めて試合に出た苦労人ロックの桑田、小さなフォワードを引っ張った小林、試合に出れなかった4年生、彼等の悔しさを後輩達が受け止め、来年に生かして貰いたいと切望する。

小野 泰右 記

## 部会だより 【今後の予定】

### <ウォーキング & 山歩き部会>

ウォーキング & 山歩き部会の当面の活動予定

---

活動方針：行動途中での交通機関内はマスク着用。歩いている時はマスクをしないで済む、密集のない場所を巡ります。(屋外でもマスク着用必須とされる場所は、対象外とします)  
政府、都知事による移動自粛要請がある場合は、中止します。

ウォーキングの予定：(下記について) 期日は決定。行く先は現時点での主な案を例示したが、未定である。

**(第84回) 2月21日(月) 東久留米に近いところを散策**

案1) 東伏見駅から千川上水を歩き花小金井駅へ

案2) 飯能駅から名栗川を遡り、龍崖山へ(途中、吾妻峡を歩く)

\*臨時開催(希望がある場合)

3月14日(月) 高尾梅郷を歩く(2019.3に開催済) 木下沢(こげさわ) 梅園を含む

**(第85回) 3月28日(月) 満開の桜を訪ねる**

案1) 久米川駅から多摩湖自転車道路を経て、小金井公園にて乾杯(2016.4に実施済)

案2) その他、桜の名所 心当たりのある方はお知らせ下さい

**(第86回) 5月9日(月) 西吾野駅から高山不動、関八州見晴台(山躰躑を楽しむ)**

標高差500mを登る少しハードなハイキング

\*他の場所も今後検討する

★実施詳細はメールでお知らせします。参加実績のない方はメールアドレスの登録がありませんので、参加ご希望の方は以下宛に、メールアドレス or FAX 番号をご通知下さい。(メール or SNS メールを希望)

宛先：[toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp](mailto:toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp) 携帯 080-1205-9494  
部会長 東海 俊孝

## 東稲広報室

<訃報> 平井 功 S40年商学部卒 11月17日79歳で逝去 稲門会としては生花対応

<新入会員> 茅野裕司 浅間町 S58年法学部卒  
神宮邦政 南沢 S41年政経学部卒  
長山勝英 中央町 S48年理工学部卒

### <お詫び>

120号の訃報「辰巳徳蔵会員」の卒業年度は、S31年政経学部でした。訂正させていただきます。

### <新会員の自己紹介>

隣の小平市から2020コロナが猛威を奮っていた4月に東久留米に越してきました坂本です。神宝町の住まいは終の住処として娘家族と夫の6人家族で暮らしております。引越し当初は上の原のパン屋さんに行くのが関の山でしたが、TVで観たダイヤモンド富士がコチラだったり、近くに黒目川や落合川が流れているのを知りノルディックウォーキングに最適かと外へ歩き出しました。

初めて見るサギ、カワセミと毎日楽しく過ごしておりました。が、ここ最近は出足が鈍りノルディックポールは今や玄関奥に眠ったままに。それでも新しい土地で何か始めたいと考えていたところ、市報の「国際書画交流会」に目がとまり、お声掛けさせて頂きましたら稲門会の書道展の案内も併せてお知らせがあり、ご縁が出来たという次第です。

福田先生の書道教室で何十年振りかで筆を持ち半紙に向かうと小中学生の頃の穏やかな自分にタイムスリップした気分になります。三千年間伝承されてきた漢字という文化に生涯関わって行く心づもりで、此の度は本当に良い機会に恵まれたと感謝しております。

さて、習字は久しぶりの習い事ですが過去にはトールペイント、ワイヤーアクセサリー、タイルクラフト、フラワーアレンジメント、園芸セラピー等と趣味と実益を兼ねて取り組んできました。役に立ったものそうでもなかったものと其々ですが学ぶという楽しさは同様です。稲門会女性サークルの読書会も参加し、世代を超えて早大卒という一点で繋がり学んで行く素敵な時間でした。ランチ会で

も多くの方々に知り合えて色々な意味で勉強になっています。今後も諸先輩方に学んでゆきたいと存じますのでどうぞ宜しくお願い致します。

坂本 洋子 S54 社学卒

### <Table for Children>

12月1日に10000円を「滝山ふれあい子ども食堂」に送金いたしました。ご協力下さった方がたありがとうございます。

河村 洋子 記

## <会員リレーエッセイ> ～噴水広場～ 投資ってなに？

S45法 中村 敏明

私自身 投資ということには 殆ど縁のない人間でした。寧ろ株で大損した話や保険金がたばこ銭になった話などを聞いていた気がします。だから真面目にコツコツと働いて貯蓄した人が最後は勝つのだというストーリーを信じていたのだと思います。そうして74年間生きて来たと考えていました。

それがあることが切っ掛けで株トレードの世界に嵌ることになりました。その切っ掛けですが東久留米市に移転した後にイオンがオープンいたしました。2階にあるオーナーズルームに憧れてイオン株を100株買いました。週に2,3度はイオンに行きオーナーズルームで無料のお菓子や、50種類もあるドリンク類をいただき妻・娘や孫たちを楽しませておりました。そこにコロナ登場です。このサービスが中止となったので何も考えずイオン株を売却いたしました。なんと15万で購入しましたが5年で2倍以上になっていたのです。2月初旬のことでした。それからは毎日がお勉強でした。判らない事ばかりの中で世話になったのは俗にカブチューバーと呼ばれている人たちの存在でした。数十名いらっしゃいますが気になる方の 意見 考え方 やってはいけないこと 他の考え方はないか最後は自分で考え 自分で決めること など何度も身につくまで 視聴してきました。また テクニカル分析 ファンダメンタルについても勉強いたしました。企業名など3800社以上もあり覚えられないわけがありません。DXってなに？ これデジタルトランスフォーメーション って読むの？ んでどうゆう意味やねん？そんな毎日が続き3月には 2銘柄購入していました。所謂、分散投資、の真似事でした。コロナ禍で自粛を強いられていた毎日8時45分から前場の寄り付きを眺め 翌日の対策を考えたりしているうちにノートが5冊に増えてきました。15年ほど前に 漢検に 嵌りましたが勉強したのはそのころ以上だったと感じています。それもこれもコロナ禍のお陰でしょうか。暇でしたから、最大で35銘柄を超えていたほど戦線を拡大していました。勝ち続けて、9月末までは正に天国でしたが 9月28日を境に地獄の日々が続きました。すごい体験でした。辛抱強くなりました。妻との小さな諍いもほとんど無くなるほど我慢強くなりました。勝ち続けていたため自分が負けるとは考えてもいませんでしたし、昨日までと変わらずに今日も 来週も問題ないと疑うことがなかったのです。そんな時に落とし穴が待っていたのです。身の置き所がない胸苦しい毎日を2か月以上も過ごしました。いい経験だったとは今だから言えるのです。実は12月に入ってからやっと状況が一変いたしました。今は地道に手堅く配当をもらったり、株主優待をもらって妻を喜ばせたりできるようになりました。

日本人は世界でも稀な貯蓄好きでありまして

全資産のうち	現金・預金	投資	保険・年金	その他
日本	54.2%	15.4%	28.4%	2.9%
米国	13.7%	50.8%	32.6%	3.0%
ユーロ	34.9%	27.9%	35.1%	2.2%

日本とアメリカは全くの逆現象でユーロは中間派といえます。アメリカ人の多くは年金型の投資をしています。有名なS&P500などは配当金を複利での再投資を推奨しています。過去100年間の平均利回りが7.5%以上とのことですから10年で2倍32年保有していると10倍となります。ある程度の金額になったら、毎月配当金を使って夫婦で旅行に行くなどという生活が一般的なようです。実は私も4月に

---

はS&P500を購入いたしました。只、私には足りないものがあることに気づきまして1ヵ月で売却した経験があります。私には そんな時間が無いことに気づいたからです。

昔は、石油ショック、ブラックマンデー、ITバブル崩壊、リーマンショックなど株価40%、50%の暴落が10年前後で起きていました。回復には3年から5年かかっておりました。2020年のコロナショックは日本では34%の下落でしたが約1ヵ月で20%回復し、半年でほぼ全回復しています。世界情報網が拡大し 対応策もかなり早く打ち出せておりました。ピンチはチャンスといいますがショックは大チャンスなのですね。下落したときに買える資金としっかり分析をしている人が利益を上げられるのです。オミクロン株でも感じたことですが肝心なオミクロン菌の毒性などが不明のまま不安感を煽っている輩がいるのではと考えていました。不安を煽り、株価を下落させて利益を上げるグループが存在するのです。でもそれを逆手にとるグループも同時に存在しています。一方的にブラックなまま下落し続けるようなことは これからは無くなるであろうと私は楽観しています。昔のような世界同時株安は起こりにくくなったと。もう一つの重要な事。インフレです。石油が暴騰し関連商品も値上げが進行しています。現在の日本のCPI 消費者物価指数は1%前後ですがアメリカでは1月に1.4%が10月6.2%11月6.8%と記録的なインフレが進行しています。100万円を貯金していれば1年で1000円の利子が付きませんが現在のアメリカでは100万円の価値が1年経つと94万円になってしまうことなのです。従って利上げや金融緩和などの動きがあり これと密接に株価が連動しますので要注意なのと その次の対策を考えているわけです。何もしなければインフレ分資産価値が減少することになります。日本株の配当利回りは3%あれば良い部類にはいります。でも5%6%以上の配当金を出している企業も多数存在します。

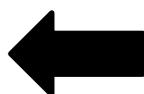
さて私の置かれた状況は現在リスクがゼロではありませんが、安全なポジションを確保するようにしています。例えば保険などは時間経過が長いので、先日がん保険の見直しを行い一部解約して還付金が戻ることになりました。まあ80過ぎたらがん保険は全部解約しようと妻の了解も得ました。別の入院保険はキープしています。私は結果的に株トレードを選んだわけですが 今はネットでいつでも買えるし、売却も即刻可能、しかも休むも投資との名言もあり適当に抜くことも可能です。一か八かではなく例えば2%下落したら売却する、または3%値上がりしたら利確する、など自分のルールを作れば良いのですから健全ではないかと考えております。

さて同年配と覚える皆様には何かの参考になりましたでしょうか。正直に言いますとキャピタルゲインで勝てなくても良いと思っています。幾ばくかの配当や優待がいただけておまけに毎日が楽しみでそのために多少の勉強もさせられる、これが一番のボケ防止だと思っています。

## ◎編集後記

細胞分裂の研究でノーベル賞を受賞したポール・ナースの「生命とは何か」によれば、ナース自身は、**進化する能力を有するもの**と答えている。東稲ニュースも生命同様進化するものにしたく、今年も頑張ろうと決意した。今年もご支援宜しくお祈いします。(有賀)

編集委員：有賀 千歳 (今回の担当)、片平 るみ 小山田 朋樹



東久留米稲門会HPへのアクセスは、  
左記QRコードからできます。